



Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2009～2010年度 RI のテーマ

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

会長 大作 茂 幹事 篠原達幸

第1992回例会(2009年8月25日)

点鐘

篠原幹事

ロータリーソング

「手に手つないで」

幹事報告

篠原幹事



ロータリー財団部門セミナーのご案内

日時 平成21年10月3日(土)13:30～

場所 さいたま共済会館

登録料 1クラブ 10,000円

「友」インターネット速報 No. 394が届いております。

ガバナー月信担当副幹事よりガバナー月信の裏表紙に載せる写真と記事を募集との連絡がきております。

写真 2枚

コメント 50字位

毎月10日〆切です。

地区大会のご案内がきております。

日時 2009年11月14日(土)～15日(日)

場所 さいたま市文化センター

登録料 会員 10,000円

家族 5,000円

各クラブより例会変更がきております。

卓話

遠藤裕久会員



《薬物について》

何か卓話をやってくれないかと言われてまして、本日は今タレントが逮捕されて話題になっている「覚醒剤」についてお話をしたいと思います。私は薬局をやっておりますので、埼玉県薬剤師会の「薬物乱用防止教室」などの資料もありますので、本日皆さんに参考資料として持って来ましたので、これらも参考にして下さい。

まず、「薬物って何?」ということですが、麻薬・大麻・覚醒剤などがあります。終戦後(1945年～1955年)は、敗戦によって虚脱状態に陥ったわが国では、覚醒剤乱用の嵐が吹き荒れ多数の人々がその魔力に蝕まれました。薬物乱用については殆んどの人が無知というか、純粋だった故に深刻な初体験を経験しました。

代表的な依存性薬物として、アヘンアルカロイド類、ユカアルカロイド、合成麻薬類及びLSDがあります。さらに大麻・アルコール・バルビツール酸があります。依存性薬物のランキングは下記の通りです。

例会日: 火曜日 12:30～13:30 例会場: 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所: 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480-34-1716 FAX 0480-34-1360

抑製薬**興奮・幻覚薬****横綱** ヘロイン・モルヒネ コカイン**大関** バルビタール**張出大関** アルコール**関脇** 有機溶剤 LSD等の幻覚薬**小结** 抗不安薬 大麻

覚醒剤としてはアンフェタミンとメタンアンフェタミンがありますが、これらは向精神薬として規制されているので素人の手には入りにくいと思います。最近では、減肥茶と称し覚醒剤入りの中国茶を輸入したり、インターネットを利用して個人的に購入した例などが報道されています。女性にとって痩せることは永遠の望みなのでしょうが、もっと本質的な作用にも関心を持って欲しいと思います。わが国では、医師あるいは研究者が入手できる覚醒剤はメタンアンフェタミンに限られています。大日本製薬で作られており、商品名は「ヒロボン」といい、これらの依存症は俗に「ボン中」と言われていましたし、隠語では「シャブ」、「骨までしゃぶる」というところからきたとも言われています。これを水で溶かして静脈内に注入するか、あるいは粉末をアルミホイル上や試験管におき、下からライターであぶり、気化させてストローで吸引するのが、一般的なやり方ですが、不潔な操作やまわし打ちによってエイズやウイルス性肝炎に感染するなどの危険にさらされることもあります。覚醒剤は麻薬と同様、不法所持、売買し乱用した場合、1～10年の懲役という厳しい厳罰が課せられます。1945年（昭和20年）8月15日、軍部や製薬会社に貯蔵されていた大量の覚醒剤が放出され、一部の人たちに急速に広まりました。乱用者は200万人にも達したと言われています。覚醒剤とモルヒネの比較としては、覚醒剤は興奮や食欲減退、幻覚や妄想を引き起こしますが、モルヒネはあくまでも鎮痛作用が大きいのが特徴です。

以上いろいろとお話をしてきましたが、薬物乱用がいかに怖いものか資料にも書いてありますので、是非読んでみて下さい。以下簡単に抜粋してみました。

急性中毒の身体の急激な反応

- ・心臓がドキドキする。呼吸が早くなる。
- ・頭痛・吐き気・食欲がなくなる。
- ・意識を失ったり、呼吸が出来なくなることも。
- ・時には死にいたることも。

カラダとココロの両方が支配される

- ・身体依存、カラダが支配された状態
 - ・手がふるえる。冷や汗が出る。眠れない。
- ・精神依存、ココロが支配された状態
 - ・ドラッグを使うこと以外何も考えられない
 - ・ドラッグがないと落ち着かない、イライラする。

慢性中毒による症状

- ・幻視
（見えるはずのないものが見えること）
- ・幻聴
（聞こえないはずの声や音が聞こえてくること）
- ・妄想
（誰かに追われていると思いつんだり、誰かに命令されているように思ってしまうこと）

薬物乱用に対してみんなができることは？

- 薬物乱用・依存に関する正しい情報を知る。
- 規則正しい生活を送る。
- 一つでいいから、打ち込める趣味を持つ。
- 悩み事を相談できる仲間を作る。
- タバコ、酒に手を出さない。

卓話**関口博正会員**

卓話ではないのですが、本日ちょっと時間があるということで下津谷会員から質問がありましたのでお話をしたいと思います。

8月号の「ロータリーの友」の紹介の記事にもありましたが、「ロータリーを悼む」というタイトルで現在のロータリー財団のあり方について

の意見がありました。これについては「ロータリーの友」2008年の6月号でも投稿があり私が紹介をしておりますので、また抜粋して紹介します。「国際ロータリーはこのほどビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団に1億ドルのチャレンジ補助金を提供したと発表した。R Iではこれを受け、今後3年間にさらに1億ドルを調達する募金運動を展開。世界保健機構、アメリカ疾病対策センター、ユニセフと協同でポリオ撲滅のための予防接種活動を支援するようだ。大変結構な話だが、今後1億ドルを誰がどのように集めるのだろうか。3年ほど前に、R Iでは大々的なポリオ撲滅キャンペーンを張って世界から、特に日本の会員から多額な寄付を調達したところではないか。当時、われわれもこれが最後のポリオの寄付だということで、地区を挙げて協力したばかりだ。しかし、今回こんな大きな寄付の目標が突然11月に決まり、再度寄付金集めが始まるのは一体どうなっているのだろうか。・・・ポリオ撲滅は確かに素晴らしい活動ではあるが、ロータリーが寄付金集めに奔走、多額の寄付を他団体や企業から受け取る姿は、少し異様に思われる。ロータリーは決して募金団体でもボランティア団体でもない。我々は素晴らしい仲間と出会い、人間性を磨き、志の高い企業人として自らを高めると同時に、社会に対して奉仕活動を行う。このところのR Iを見ていると、官僚的な事務局の言いなりになって、世界的なボランティア団体を目指しているようにしか見えない、このような姿を見るにつけ、ロータリーに対する魅力を失ってしまう会員も多くなるのではないかと憂慮する」とありますが、私も全くその通りだと思います。最近のロータリー財団は本来のロータリーの活動からはずれてきていると思います。

また、ゾーンの再編についても今までは日本は4つのゾーンに分かれていましたが、会員の減少に伴い、7月1日から3つのゾーンになってしまいました。会員35,000人位で1つの単位のゾーンを形成していました。日本は最盛期には約130,000人の会員がいますが、今は約95,000人で、35,000人の減

少です。そこで埼玉2地区は、第2ゾーンから第1ゾーンへ編入されてしまったわけです。

最後にビチャイ・ラタクル元R I会長の言葉を紹介して本来のロータリーらしい活動は何かを考えて頂きたいと思います。「ロータリアンとしてロータリーの仕事をするのはクラブとその会員であって、地区ガバナーでも国際ロータリーの理事でも会長でもありません。私たちはトップダウンし、上位下達ではなくて、草の根レベル(ボトムアップ)で働きます。」

出席報告

黒岩会員



月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
8/25	25	13	12	6	76%

スマイル報告

黒岩会員

関口会員・・・三島にある米山記念館に行って来ました。クラブでも是非一度行きませんか？
遠藤さん卓話ありがとうございます！

渡辺良一会員・・・選挙応援なのですかね？どうも出席者が少ないのが気がかりです。

落合会員・・・最近非常に出席者が少ない。皆さんで何とかいたしましょう！

下津谷会員・・・遠藤さん卓話ありがとうございます！初秋の息吹を感じる昨今です。

遠藤会員卓話ありがとうございます。

以下同文 鈴木会員、舟越会員、細井会員、渡辺洋子会員、田中会員、黒岩会員、篠原幹事、中村会員、遠藤会員

本日投入額	14,000円
累計額	146,500円